

平成 30 年 2 月 2 日

愛 媛 大 学

愛 媛 県

文部科学省 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム
「えひめ水産イノベーション・エコシステム
キックオフフォーラム」
～（第 8 回 愛南町水産フォーラム）～

平成 29 年度、愛媛大学と愛媛県が共同で申請した「えひめ水産イノベーション・エコシステムの構築」が文部科学省の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されました。

このプログラムは、「スマ」をモデルとした新養殖産業の創出と養殖産業の構造改革を目指していますが、事業の成功には宇和海沿岸の各市町や水産業者等との連携が不可欠であります。

今回は宇和海沿岸地域の方々に、本事業の目的や現在までの進捗状況の説明を愛南町水産フォーラムと合同で開催します。

つきましては、取材くださいますようお願い致します。

記

日 時：平成 30 年 2 月 10 日（土） 14：00～16：40（受付 12：30～）

場 所：愛南町御荘文化センター（南宇和郡愛南町御荘平城 3063 番地 1）

対 象：一般の方、学生

定 員：200 人

参加費：無料

駐車場：有り

※御荘文化センター敷地内

※送付資料 2 枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

○愛媛大学南予水産チーム

○副事業プロデューサー 亀岡 洋一

TEL：089-927-8517 FAX：089-927-8820

Mail：eco@stu.ehime-u.ac.jp

○愛媛県農林水産部水産局水産課

○資源管理係 係長 谷川 貴之

TEL：089-912-2618 FAX：089-947-3032

E-mail：tanigawa-takashi@pref.ehime.lg.jp

えひめ水産イノベーション・エコシステム

キックオフフォーラム

(第8回 愛南町水産フォーラム)

参加費
無料



平成29年度、愛媛大学と愛媛県が共同で申請していた「えひめ水産イノベーション・エコシステムの構築」が、文部科学省の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されました。

このプログラムは、「スマ」をモデルとした新養殖産業の創出と養殖産業の構造改革を目指しておりますが、事業の成功には宇和海沿岸の各市町や水産業者等との連携が不可欠です。

今回は宇和海沿岸地域の方々に、本事業の目的や現在までの進捗状況の説明を愛南町水産フォーラムと合同で開催します。

日時 平成30年2月10日(土)

14:00～ (受付12:30～)

場所 愛南町御荘文化センター

南宇和郡愛南町御荘平城3063番地1

TEL:0895-73-1111

主催：愛媛大学・愛媛県・愛南町・愛南漁業協同組合・久良漁業協同組合

共催：宇和海水産構想推進協議会



プログラム 14:00～16:40

定員：200名
(申込み先着順)

- **開会挨拶**

愛媛大学長	大橋裕一
愛媛県知事	中村時広
愛南町長	清水雅文

- **基調講演① 「我が国における水産養殖業の未来」**
元水産研究・教育機構 増養殖研究所所長 飯田 貴次 氏

- **基調講演② 「水産養殖におけるIoT活用の可能性」**
ウミトロン株式会社 代表取締役 藤原 謙 氏

● 事業説明

- 南予水産研究センターの10年の歩み- 南予水産研究センター センター長 武岡 英隆
- プログラムの概要- 南予水産研究センター 教授 亀岡 洋一
- 事業化プロジェクト-
- 「スマの大量生産技術開発」 南予水産研究センター 教授 松原 孝博
- 「スマの次世代育種システム開発」 南予水産研究センター 准教授 後藤 理恵
- 基盤構築プロジェクト-
- 「赤潮・魚病対策技術の新展開」 南予水産研究センター 准教授 清水 園子
- 「地域を支える水産人材育成」 南予水産研究センター 准教授 郡司島 宏美

▶ 当日12:30より同会場において、南予水産研究センターの学生による卒業研究等のポスター発表を開催しますので、是非ご参加下さい。

● 申込方法／裏面申込書内容を記入のうえ、メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

参加者は申込み先着順とし、定員を超えた場合のみ、連絡をさしあげます。